



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

98.7.2 No. 4811

第39回定期委、圧倒的に勝ち取る

— 5・28反動判決— 和解3条件弾劾など、新たな闘いの方向を確立—



六月二十九日開催した第三九回定期委員会は、五・二八反動判決への怒りさめやらないなか、千葉転の古川委員を議長に選出し、委員、傍聴者の真剣な討論を通し、五・二八判決の事態を鮮明にし、新たな闘いへの決意を打ち固めた。

水野、山口両顧問駆けつける！

水野氏、来年の勝浦市議選への決意を表明！

水野、山口両氏から「久しぶりに皆さんの元気な姿にふれ、熱いものを感じる」「五・二八反動判決は、絶対に許せない。敵の新たな『挑戦』に真向から応え、闘おう。清算事業団闘争の新たな闘いの発進地として闘

おうではないか。」「来年の選挙をこうした闘いを前進させるものとして位置づけ、全力で闘います。」「(水野氏)という、両氏の決意に大拍手で応えた。

結成二〇周年を勝利で迎えよう

中野委員長、闘いの方向性を鮮明に打ち出す！(要旨)

中野委員長は、五・二八反動判決の意味すること、その本性を暴き、「これとの闘いの先頭に動労千葉がたちきろう」と強調し、「夏・秋の臨時国会をめぐる闘いを貫徹しながら、大失業と戦争の時代に抗する本物の労働運動をつくらう。なにか妙案があるわけではない。原則に立って、仲間を信頼し頑張りこた。夏の物販の勢いにも見られるように、動労千葉への期待は急速に高まっている。この道をともに団結を固め進むことの中から、共鳴する多くの労働者、労働組合をつくりだし、来年三月の結成二〇周年を勝利で迎えよう。」と訴えた。

鈴木達夫顧問弁護士より

熱烈な連帯あいさつ

多忙ななか、鈴木弁護士が駆けつけ、五・二八反動判決について弁護士の立場から徹底糾弾され、「一勝一敗など、どこを指しても言えない。そうした問題点も指摘すべきだ。今日の危機の中で裁判官のなかからも声を発し、立ち上がっている人も出ている。労働者階級こそが、

未来を決する。動労千葉が勝つため、われわれも全力を尽くす」と熱烈なあいさつを受けた。

動労千葉「事業団」を代表し、高石執行委員が決意表明

「五月二十八日の判決について、『衝撃』はない。動労千葉は国鉄労働運動つづしとみすえ、真向から対決してきたし、これからも闘いを強めるのみである。怒りをさらに燃やし、勝つまで闘いぬく決意です。」

各支部のたたかいの報告など、積極的な意見出る

・「工臨」について、様々な業務上の矛盾が出ている。その是正を求め、取り組むべきだ。(千葉転)

・職集で、多くの意見が出た。作業上の「ミス」に対し、処分、ボーナスカットが出ている。何らかの補償を考えては。(幕張)

・技能意見競技会に、年休取消問題や業務命令での参加の強要もある。組織的に闘うべきだ。(幕張)

・貨物協議会は、検討会を精力的に取り組み、要求をまとめて申し入れを行なっている。合理化と格差攻撃は止まらないうが、負けずに闘っていきたい。反撃の体制を固めよう。(新小岩)

・職制による「職権濫用」的行為について、個人的には抗議している。当局の不当な介入を見逃さない闘いが必要だ。

(千葉転)

・三・六協定について、有効に活かせる方向を考えたらどうか。(千葉機)

・事故に対する乗務停止について、各区：等々に差があり、問題だ。事故に対する対策本部を設置したと言っているが、あり方とか設置の仕方に関係があるのでは。(千葉転)

「反動判決・和解三条件弾劾、解雇撤回・清算事業団闘争勝利」に向けた特別決議を採択

満場一致で、五・二八反動判決弾劾、「和解三条件」粉砕、闘争勝利に向けた決議を採択した。

国鉄闘争の全面降伏を迫る自民党の態度に参加者は改めて心底怒った。同時に、この狂暴な攻撃のなかに敵のドンズマリ、完全な危機を見てとった。決議でも、「攻撃は敵の強さではない。一〇万人もの首を切り、ありとあらゆる差別攻撃をもって、われわれの闘いを押さえられず、国労も解体できなかった。いわば、万策尽きたのは敵である」「原点に還り、闘いの路線方針のもと、団結を固めて進めば勝てる」とキツパリと宣言、全参加者が確信を新たにし、職場に散った。特に強制配転者の原職復帰のために、恒常的スト体制を強化し、部分的なスト配置を辞さず闘うことを決意した。